

# 来 来 へ

おおさわ学園  
三鷹市立第七中学校  
第3学年 進路だより  
No.9 2018.7.3  
校長 勝野 能光  
進路指導主任 木村智佐子

## 夏休みに高校説明会に行こう

「夏を制する者は受験を制す」という言葉は、何度か聞いたことがあるでしょう。それは、夏休みに勉強を何十時間もやらなければ受験で成功しないという意味ではありません。夏休みというのは、学校もチャイムもなく、先生もいません。おまけに暑いし、だらだらと過ごしてしまいかち。そんな自分に負けず、計画的、効率的に学習ができる人は、秋以降の学習のリズムもでき、受験でも成功するという意味なのでしょう。

そして、勉強だけでなく、夏休み中には必ず高校見学に行くこと。2学期はますます忙しくなり、本当に時間がありません。高校の説明会に行こうと思ったら、定期考査の直前だったり、説明会の日が重なってたりします。夏休みにはできるだけ多くの高校の説明会や体験入学などに参加して、比較できるようにしておきましょう。

### (1) 高校説明会の決め方・申し込み方

ポスターやチラシ、パンフレットを見て決める。その学校のホームページで調べる。



#### \*事前申し込みが必要であったら

中学校を通すもの→先生に相談する。(学校に申込書がある)

HPから申し込むもの→各家庭のPCで申し込む。

往復はがきや電話で申し込むもの→家庭で準備をして申し込む。

#### \*事前申し込みが不要であったら

準備をして、時間に余裕をもって行ってください。

### (2) 当日の注意

**入試の日と同じと考えれば間違いなし。すでに第一次面接が始まっている!**

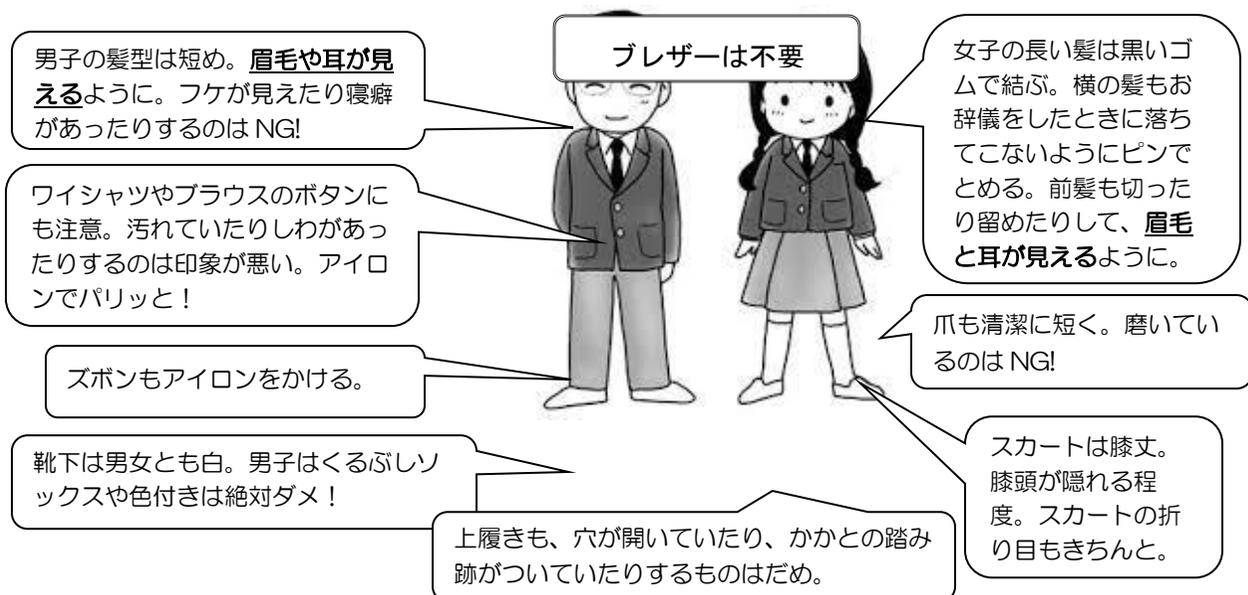
#### ①持ち物

- カバン (パンフレットなどをもらえるのでそれが入るような大きさ。アクセサリなどは付けない。)
- 生徒手帳 (身分証明) ・筆記用具 ・メモをするもの ・交通費
- その高校のことを事前に調べたメモ (交通経路・駅からの地図・住所や電話番号など)
- 上履き (履きつぶしていないきれいなもの) と袋→不要の学校もある。確認しよう。
- 私立高校では、相談をすると、1学期の通知表の評定をもとに合格の可能性や今後のアドバイス等を話してくれる場合もあるので、評定はすぐに答えられるようにしておくとうい。
- 持って行ってはいけないもの

**携帯電話、スマートフォン、ペットボトルなど、学校の決まりと同じ。**

#### ②身だしなみ

制服の夏服。ネクタイ・リボンはなくてもよいが、着けていると少し「正装」の雰囲気が出ます。ポイント「受験に向かう気持ちの表れ」と「清潔感」です。



### ③時間

遅くとも説明会開始の10分前には着くように、家を出発する。自転車でいける範囲の高校でも、絶対に自転車では行かない。公共の交通機関を利用して行くこと。入試当日も同様です。

### ④参加の仕方

まずは挨拶。そして、目的意識・意欲。友達に付き合っ、全く興味がない高校へ行くのは絶対にやめる。

どの点を知りたいのか、見たいのかを明確に目的意識をもって参加しましょう。そのためには、高校選びに自分が何を重視するかを考えてみることです。説明会や見学会は、できるだけ保護者と一緒に行きましょう。同じものを見て情報を共有しておくことが大事です。

### (3) 事後

説明されたことや自分の感じたことなどは、しっかり記録し、いただいた資料はきちんと保管しておきましょう。何校か訪問して比較をすると、それぞれの特徴が見えて、志望の高校がしぼりやすくなります。

## 夏休みの三者面談は・・・

7月23日(月)から始まる三者面談は、進路希望調査をもとに君たちの進路先について相談をするものです。担任の先生は、第1回進路希望調査に基づいていろいろ下調べをして面談を行います。進路希望について保護者の方とも事前に十分話し合い、そのうえで生徒自身がしっかり説明ができるようにしておいてください。都立高校の受検を考えている人は、事前に「進路のしおり」P9の調査書点の出し方のところに1学期の評定を入れて、計算をしてください。

**面談持ち物**: 進路のしおり、東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ [リーフレット]、復習確認テストの個票、筆記用具・メモ帳、その他自分の資料となるもの(会場テストの結果、すでに見学に行った高校のパンフレットなど)

♥努力の成果なんて目には見えない。しかし、紙一重の薄さも重なれば本の厚さになる。(元マラソン選手・君原健二)

★進路だよりは**必ず**その日のうちに保護者に渡し、内容について話し合ったり情報を交換したりした後、家庭で保管してください。